

# 高すぎる国保料の 引き下げを

## #高すぎる国保料を「払える国保料に」

岡山市は2024年度に「高すぎる国保料」を1人平均5千円以上引き上げました。（3つのパターンでの引上げ参照）今までも、保険料が払えなくて8世帯に1世帯が保険料を滞納しています。ただちに、払える国保料に引き下げのべきです。

特に子育て世帯に対する負担軽減は待ったなしの重要課題です。政令市では仙台市や名古屋市、その他の市町村でも群馬県渋川市など、各地で自治体独自の国保料（税）負担軽減が実施されています。市が判断すれば実現可能です。

パターン1 ●40歳で年収370万円の4人家族(子どもは小学生以上)  
⇒年間約3.3万円UP

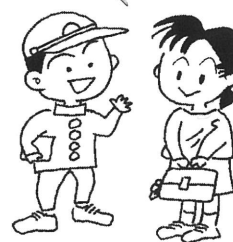
パターン2 ●30歳で年収180万円のシングルマザー(子どもは小学生以上)  
⇒年間約1万円UP

パターン3 ●65歳の夫婦で年金210万円  
⇒年間約8千円UP

ココがポイント  
全国で広がる子育て  
世帯への負担軽減

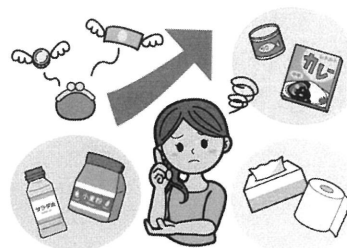
仙台市では…

- 国は未就学児の子どもに関わる保険料を半額
- 仙台市は、高校生までの子どもに関わる保険料の3割を追加で減額



## #物価高、市民の負担軽減を

食料品や生活用品、電気やガス代・水道など、生活に必要なものやサービスの値段がどんどん上がっています。市民の暮らしは大変です。市が、市民の負担軽減に力を尽くすことが強く求められています。



## #「健康保険証の廃止」をやめて

政府は、2024年末に保険証を廃止するとしています。しかし、各地で様々なトラブルが頻発し、利用実態も6%程度にしかありません。世論調査でも「延期」「撤回」すべきとの声が圧倒的です。「命のパスポート」である健康保険証の廃止は中止すべきです。